

■ 2021年度 入試問題分析シート ■

名古屋大学

前期日程

科目	数学(文系)
----	--------

総括

試験時間	90分	難易度(昨年比)	難化	昨年並	易化
		分量(昨年比)	増加	昨年並	減少

<p><総論> 昨年と同じ大問3題で、いずれも標準以上である。</p> <p><特記事項・トピックス> 図形、ベクトルの問題が出題されなかった。 理系との共通問題が例年より多かった。</p> <p><合格への学習対策> 標準的な問題を確実にこなせるようにしたい。 過去問を研究し、考える力を養い、計算量が多い場合も正確に答を出せるようにしたい。</p>

設問ごとの分析

問題番号	出題形式	範囲	分野・テーマ	特徴(内容分析・解答上のポイント)	問題レベル
1	記述	II	数学IIの微分・積分	(2) 2つの放物線が2本の共通接線を持つための条件を2次方程式が異なる2つの実数解を持つ条件として捉えることがポイントである。	標準
2	記述	II	指数・対数 3次関数のグラフ	(2) $\frac{3}{2}$ との大小を考えることがポイントである。 (3) $f(x)$ を因数分解し、3次関数のグラフを考える。 (2)の大小関係を活用して、正負を判定する。	やや難
3	記述	A	確率	樹形図的に書き出して確率を計算する。	やや難

「問題レベル」は、本大学・学部を志望している受験生の入試レベルを基準に、問題の難易度を5段階【難・やや難・標準・やや易・易】で判断しています。昨年対比ではありませんので、総括の難易度(昨年比)とは連動しません。